

# 小柴ホールAV機器 基本使用説明書

- はじめに
- 操作手順
  - 基本使用開始方法
  - 終了方法
  - プロジェクタ出力
  - 音響設定
  - 照明設定
  - ラウンジへの出力
  - 講演の録画
  - 録画ビデオの書き出し方法
- ワイヤレスマイクの使用方法
- 休日のホール使用
- 困ったときは
- 問い合わせ先
- 厳守事項

機器操作で不明な点がありましたら説明対応をいたします。  
但し、その場での対応は出来ませんので、事前に説明予約をお取り下さい。

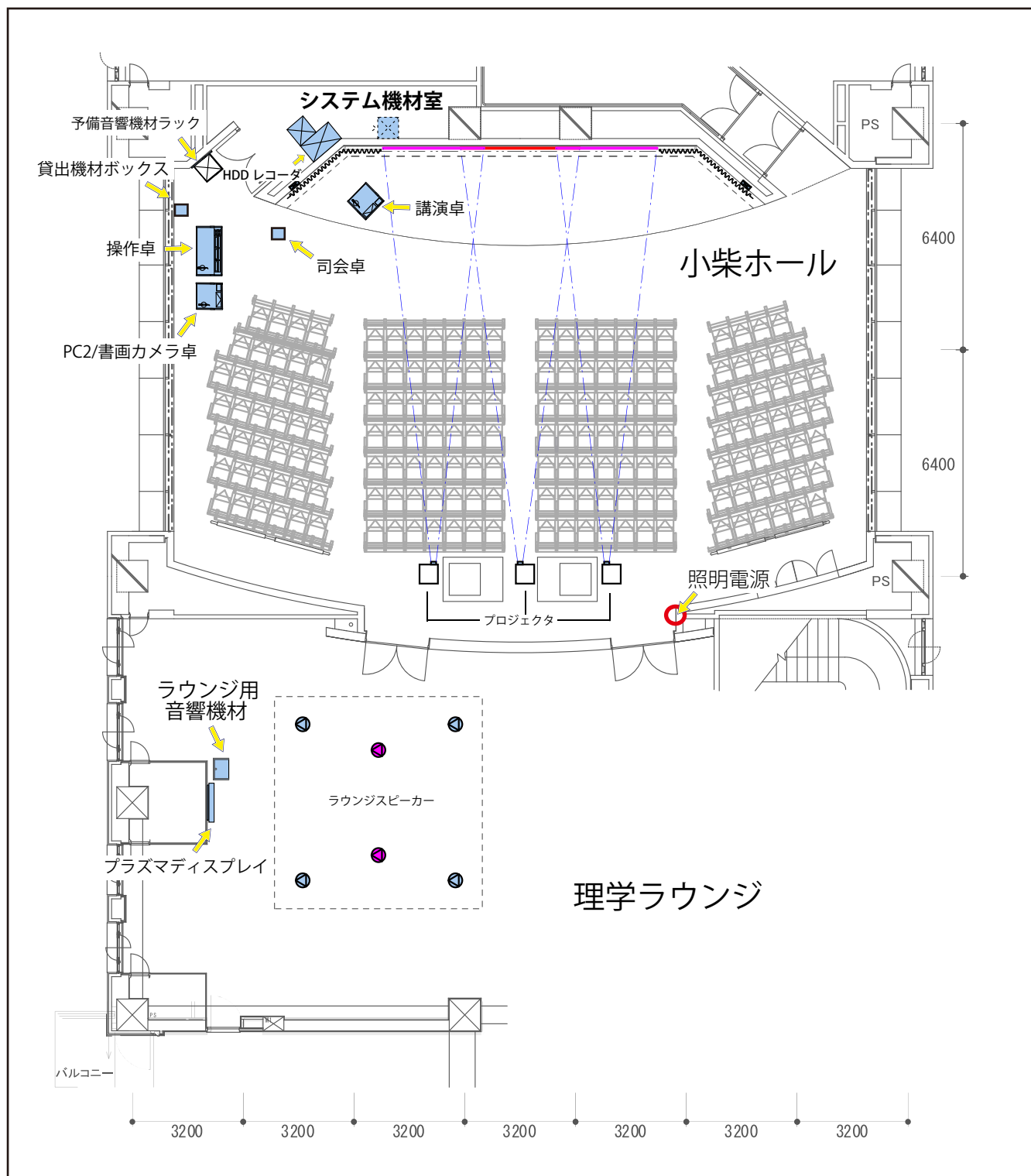
# はじめに

本説明書は標準設定でのホールの基本的な AV 機器の使用方法、及び重要な注意事項を示しています。本書を参考のうえ、正しくお使いください。

## ・小柴ホール全景

小柴ホールでは以下のように講演卓、備品等を基本配置しています。

卓の移動、接続ケーブルの変更等を行った場合は使用後必ず元の配置に戻してください。

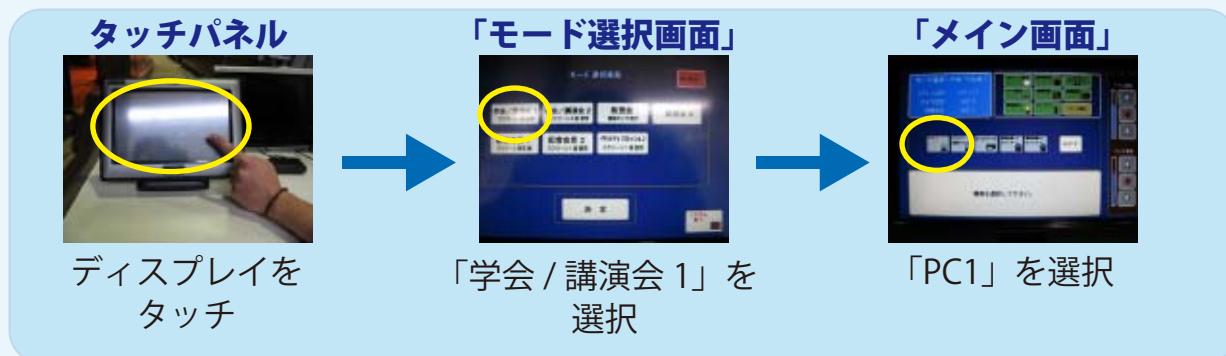


# 操作手順 1

## • 基本使用開始手順

1: 入口横の照明電源を入れる（ランプが点灯しているボタンを押してください。）

2: 操作卓上タッチパネル操作



3: 講演卓上のディスプレイケーブルを使用 PC に接続し、PC 側から外部出力操作を行う（外部出力操作は使用する PC によって異なります。事前にご確認ください。）

4: 操作卓脇にある貸出機材ボックスから追加マイクなど必要機材を準備



貸出機材ボックス…以下の機材が入っています。

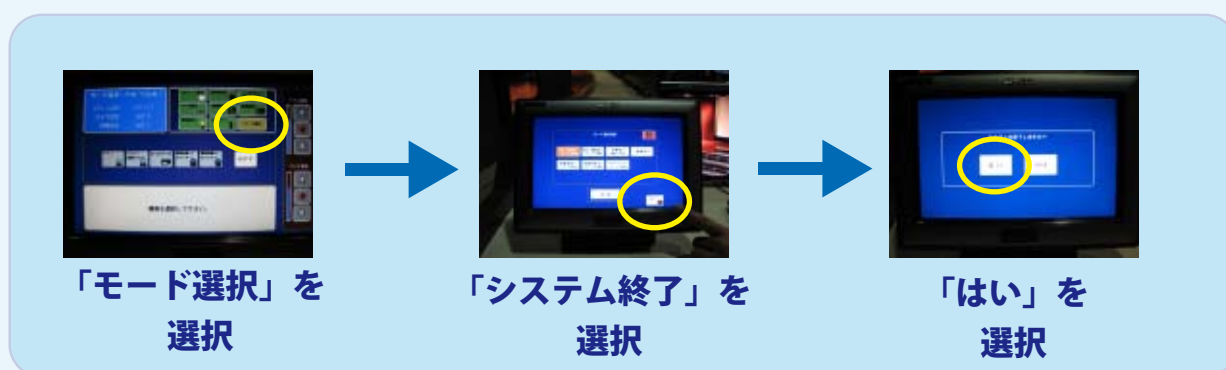
- ハンド型ワイヤレスマイク
- ディスプレイケーブル
- 有線マイク用ケーブル

以上が基本使用の開始方法となります。

## • 終了方法

1: 会場の原状復帰（貸出機材の返却、ゴミの回収等）

2: 操作卓上タッチパネル操作



3: 入口照明スイッチを OFF にする

以上が終了方法となります。

# 操作手順 2

## ・ プロジェクタ出力

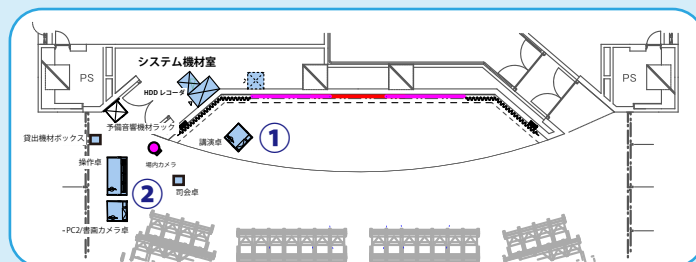
### ・ PC 画面のプロジェクト出力方法

- 1: タッチパネルメイン画面から「PC1」または「PC2/ 書画カメラ」を選択
- 2: 出力コネクタ位置に接続してあるディスプレイケーブルと PC を接続する
- 3: PC から外部出力の操作を行う

(操作3は使用するPCによって操作が異なります。PCを持ち込む際には事前に確認ください。)



メイン画面 (映像選択画面)



PC画面出力コネクタ位置

①:PC1 ②:PC2/ 書画カメラ

### ・ 「PC1」 (講演卓) 映像出力について

講演卓には 4ch 接続可能の映像切替器が接続してあります。

(通常は ch1 にのみ接続)

必要に応じて操作卓横の機材貸出ボックスからディスプレイケーブルを追加し、切替器の電源を入れ、ch を切り替えてください。

使用が終わったら追加ケーブルの返却、ch を 1 に戻し、電源を落としてください。



映像切替器 (講演卓)

### ・ 「PC2/ 書画カメラ」 映像出力について

通常上記コネクタにつながっているディスプレイケーブルは PC2/ 書画カメラ卓上に設置してある書画カメラに接続されています。

本出力を PC に接続し使用する場合は、書画カメラに接続してあるディスプレイケーブルを PC に接続してください。

使用が終わったら元の接続に戻してください。



書画カメラ

## ・ 注意事項

ホールのプロジェクタは XGA (1024×768 ピクセル) で正常表示されるように設定しています。

# 操作手順 3

## ・音響関係

### ・音量調整について

音量の調整はタッチパネル右上の「メイン音量」にて調整してください。

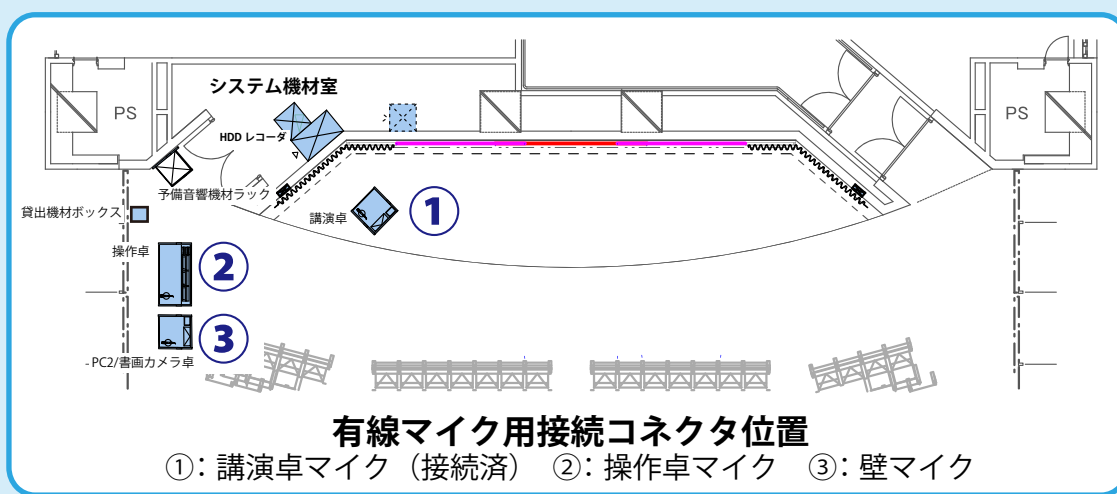
システム起動時の状態で録音、録画が正常なゲインで録れるようになっています。

※各音量を変更される場合、操作卓上の録音出力端子（ステレオピン 3.5mm）にて確認のうえ、調整してください。（確認用機材は各自お持ちください）

※録音出力端子はライン出力に設定されています。

### ・有線マイク

接続済みの有線マイクは講演卓のみです。追加で有線マイクを使用する場合は、予備用音響機材ラックからマイク本体と操作卓脇に置いてある貸出機材ボックス内のマイクケーブルを接続したものを、下記コネクタ位置に接続し使用してください。



### ・PCのオーディオ出力

PCのオーディオをホール内スピーカで出力する場合は、操作卓左引出しにある変換ケーブルを使用します。

PCのヘッドホンコネクタにステレオミニピンを接続し、キャンソケーブル（6ピン）を所定のコネクタに接続して使用してください。コネクタ位置は上記図の①、③のディスプレイケーブルコネクタ下の「音声」です。



オーディオ変換ケーブル



変換ケーブルコネクタ位置

## ・照明関係

タッチパネル右上パネルから「照明設定」を選択し、適切な照明を選んでください。（「学会 / 講演会 1」では設定 2 が初期設定になっています。）

### ・各照明設定

設定 1: ホール内全点灯

設定 2: ステージサイドのみ点灯（強）、客席点灯

設定 3: ステージ大スポットのみ消灯、客席点灯

設定 4: ステージ中央のみ点灯（強）、客席点灯

設定 5: ステージ中央のみ点灯（弱）、客席点灯

設定 6: ステージ点灯（強）、客席消灯

設定 7: ステージサイドのみ点灯（弱）、客席点灯

設定 8: ホール内全消灯

# 操作手順 4

小柴ホールでは基本操作の他に、以下の操作も行えます。

## ・ラウンジへの出力

ホール内の模様をラウンジのプラズマディスプレイ（以下 PD）、ラウンジスピーカに出力できます。

### 操作手順

- 1: 機能設定パネル「PD 設定」を選択
- 2: 「映像表示」→使用 PD の出力映像選択
- 3: 機能設定パネル「音量設定」を選択
- 4: 「Other」→「ラウンジ SP」調整
- 5: 使用 PD の主電源を入れる
- 6: 使用后、PD の主電源を落とす



メイン画面



機能設定パネル

「PD 設定」  
ディスプレイ操作画面



映像表示画面

「音量設定」

Mic 画面



Other 画面

「PD 主電源スイッチ位置」



スイッチは上記円内の裏側にあります

※ 1階の PD はコミュニティスペースのため、PD 本体で設定されているボリューム以上は出せません。

※ PD の主電源はホールのシステムと連動していません。使用後は必ず PD 本体の電源を落としてください。

## ・講演録画

カメラ入力 1、2 の映像（オーディオ：マイク出力、PC 等 AV 出力）を録画することができます。

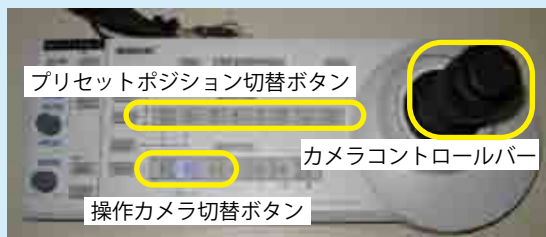
### 操作手順

- 1: カメラコントローラーで入力カメラ映像調整
- 2: 機能選択パネル「録画設定」を選択
- 3: 録画したいカメラ入力に対応したレコーダの「●」（録画ボタン）を選択
- 4: 「□」（停止ボタン）を選択し、録画終了

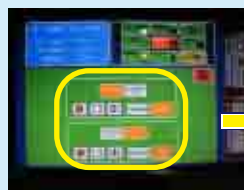


カメラモニター

（左から）入力 1、入力 2、操作モニター



カメラコントローラー



「録画設定」画面



※ ホールの HDD レコーダの録画モードは SP モードに設定しています。（4.7GB の DVD メディアに 2 時間録画可能）

※ 書き出し作業の簡略化のために 2 時間以内に 1 度「□」停止ボタンを選択してクリップ分けを行ってください。通常のビデオの書き出し時間は 2 時間のもので約 10~20 分程度ですが、録画時間を超過した場合は、ビデオの書き出しに録画時間と同じ時間が必要となります。またはファイル分割作業を別途要します。

# 操作手順 5

## ・録画ビデオの書き出し

### ・準備

- ・書き出し時に用意するもの : DVD-R (4.7GB)、DVD-RAM (4.7GB、9.4GB (両面))
- ・ビデオの書き出しには予備音響機材ラック上に置いてある HDD レコーダのリモコンを使用します。
- ・リモコン操作は操作卓上に設置してある赤外線受光器に向けて行ってください。
- ・録画を行ったレコーダに対応するリモコンで操作してください。(レコーダ 1→リモコン 1、レコーダ 2→リモコン 2)
- ・操作画面は操作卓上のカメラモニタに表示されます。(レコーダ 1→モニタ 1、レコーダ 2→モニタ 2)



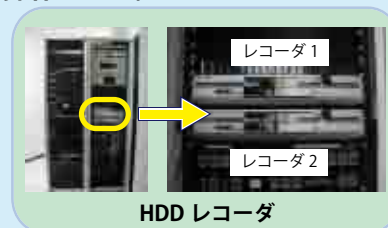
カメラモニタ (左から) 入力1、入力2、操作モニタ



赤外線受光器

### ・DVD-R、RAM 書き出し方法 (『』: 操作画面での選択項目、『』: リモコン操作ボタン)

- 1: システム機材室内 HDD レコーダにメディアをセットする
- 2: 対応するリモコンから『機能選択』
- 3: 機能選択画面操作 「ダビング」→『決定』
- 4: ダビング画面操作 「3 リスト作成」→『決定』→「新規登録」→『決定』
- 5: ビデオリスト画面操作 該当するビデオを選択し『決定』
- 6: リスト作成後、操作画面下部「確定」→『決定』→「ダビング開始」→『決定』



HDD レコーダ

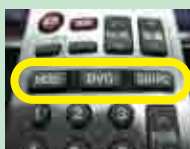
DVD-RAM では以上の操作で書き出し終了です。メディアを取り出してください。DVD-R ではファイナライズ作業を行います。



リモコン



機能選択ボタン



機能切替ボタン



機能選択画面



ダビング画面

- 7: 『戻る』→機能切替ボタン『DVD』
- 8: 『機能選択』→「ディスク管理」→『決定』→「ファイナライズ」→『決定』
- 9: ファイナライズ終了後、機能切替ボタン『HDD』

以上で DVD-R の書き出し作業は終了です。HDD レコーダからメディアを取り出してください。

### ・書き出し作業の注意点

- ※HDD レコーダの機能切替はシステムを終了しても次回使用以降に反映されます。『DVD』に切り替えた方は必ず『HDD』に戻してください。
- ※「メディアがフォーマットされていない」というメッセージが表示された場合は以下の操作を行ってください。
  - ・機能切替『DVD』→『機能選択』→「ディスク管理」→『決定』→「ディスクのフォーマット」→『決定』フォーマットが終了したら機能切替『HDD』を選択後、書き出しを行ってください。
- ※連続で書き出しを行う場合は、前にダビング画面にて作成したリストが残っています。別のリストで書き出しを行う場合は、前のリストにポイントを合わせ、『サブメニュー』→「リストの削除」の操作を行ってから書き出ししてください。
- ※システム機材室にある機材は HDD レコーダ以外触れないでください。

# ワイヤレスマイクの使用について

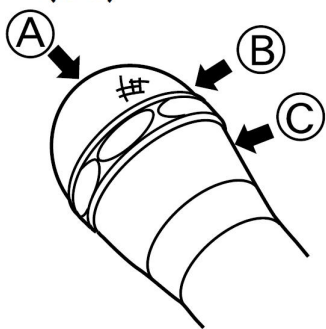
- ・操作卓脇のクリアボックス内のワイヤレスマイクをご使用ください。  
ハンド型マイク ×14 (白 1~14)  
ピン型マイク ×1 (白 15)

※ワイヤレスマイクの使用が終わったら同じ番号のソフトケース (ハンド型) に入れ、所定の位置に戻してください。

- ・さらに追加をご希望される場合は「小柴ホール利用環境確認表」に記載のうえ、総務課までご連絡ください。

## 正しいマイクの使用方法

音声 (口)



- ・マイクは使用する口の向きによって感度が変わります。B、Cの向きでは2~5割に性能が落ちてしまうのでAの向きに合わせてご使用ください。
- ・マイクは口から5~10cmほど離してご使用ください

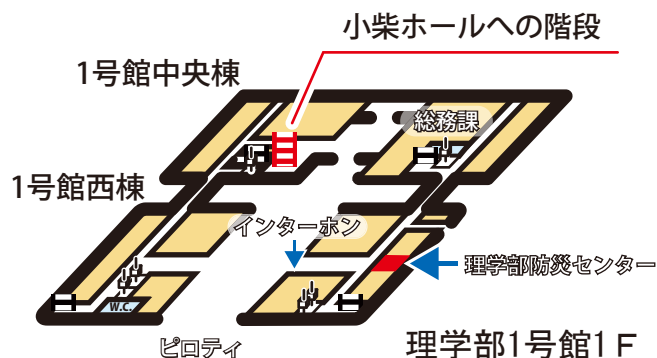
※電池切れ、また調子の悪いマイクがありましたら総務課までお持ちください。

# 休日のホール使用

土日祝日は理学部の扉は施錠されています。

右記地図のインターホンにて防災センターに連絡後、鍵の解錠、また小柴ホールの鍵を受け取ってください。また、休日のサポートは消耗品、照明等の交換以外は受けておりません。

ホールの使用方法、持込機材の動作の確認は、必ず事前の下見時に行ってください。



## 困ったときは1

### プロジェクタについて

#### ・画面が映らない。

- ・ PC とディスプレイケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ PC からの外部出力操作を確認してください。
- ・ 講演卓上の切替器の出力チャンネルは正しく選択されているか確認してください。
- ・ タッチパネル上の映像選択が選択されているか確認してください。
- ・ PC の画面設定が XGA (1024×768 ピクセル) になっているか確認してください。

#### ・色の表示がおかしい。

- ・ PC とディスプレイケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ・ 使用しているディスプレイケーブルが損傷している可能性があります。貸出機材ボックスにある他のディスプレイケーブルと交換してください。

#### ・動画の表示がおかしい。

- ・ 動画ファイルについては通常プロジェクタ、PC の両方に出力できません。プロジェクタの画面にてご確認ください。
- ・ プロジェクタに表示されず、使用 PC に表示される場合は、PC がプライマリ表示になっている可能性があります。外部出力にプライマリ表示を割り当ててください。

#### ・Mac の DVI 端子について。

- ・ ホール内の映像出力コネクタは全てアナログ RGB となっています。変換端子を必要としますが、貸出は行っておりません。上記端子を外部出力端子に使用している PC を使用される方は持参してください。

#### ・プロジェクタのランプが暗い、または切れてる。

- ・ 平日は理学部総務課まで、休日は理学部防災センターまでご連絡ください。また照明の球切れについても同様にお問い合わせください。

# 困ったときは2

## HDD 録画について

### ・録画ができない

- ・HDD レコーダのリモコンの機能切替ボタン『HDD』を操作卓上の赤外線受光器に向けて選択後、再度タッチパネルで録画操作を行ってください。  
このトラブルは録画ビデオの書き出しを行った方が機能切替を戻していないことが原因で起こります。  
機能切替を行った方は使用後必ず『HDD』に戻してください。

### ・HDD 内ビデオの保管期間

- ・およそ1ヶ月を保存期間としています。但し、録画状況により左記の期間よりも早く削除する可能性がありますので、後日書き出し作業を行われる方は総務課にて書き出しの予約を行ってください。

## 音響関係

### ・ワイヤレスマイクで音声途切れる、または全く出力されない。

- ・マイクには指向性があります。マイクと口の向きをそろえて使用してください。
- ・システム起動時のエラーの可能性あります。タッチパネル右上の「メイン音量」をミュートにし、解除してください。以上の手順でも出力されない場合はシステムを再起動してください。  
※上記不具合が改善されない場合は有線マイクを使用してください。

### ・操作卓脇のオーディオラック（予備音響機材ラック）から再生しているオーディオまたは音声、ラウンジスピーカや録画ビデオに出力されていない。

- ・上記機材は緊急時用の機材ですので触らないでください。

※トラブルによってはホールのシステムを再起動する必要があります。  
その際3分前後かかりますが、ご理解ください。

# 問い合わせ先

## 平日サポート

- ・ホールの予約、鍵の貸出、机及び椅子の貸出、照明等の消耗品の交換について  
→総務課

※使用当日の機器操作説明は対応できません。

※事前操作説明をご希望の方は総務課にてホールの予約を行ってください。

## 休日サポート

- ・ホールの鍵の貸出、照明等の消耗品の交換について  
→防災センター（直接お問い合わせください）

※休日の技術サポートは行っておりません。

# 厳守事項

- システム機材室は DVD の書き出し作業以外立ち入り禁止です。また本書で説明していない配線の変更も禁止します。許可を得ていないシステムの変更で生じた不具合（勝手な設定変更）の修復に要する費用については、利用代表者の方に負担していただきます。すでに事例があります。
- 小柴ホールの照明は、基本使用に適した効果が得られるよう調整してありますので、照明の変更は一切禁止しております。  
但し、完全な原状復帰を条件に例外を認める場合があります。  
下見の際に担当者と原状を確認のうえ、「小柴ホール利用環境確認表」にて、変更内容を届け出、使用後は必ず原状復帰をしてください。  
原状復帰が確認されなかった場合は次回からの利用をお断りします。
- ホール使用後は使用時に出たごみの回収を含めた原状復帰をお願いします。
- 機材は丁寧に使用してください。
- ホール内での飲食は禁止です。観客の行為についても代表者の責任となります。
- 事前に依頼を受けていない使用当日の急な設定変更は受け付けていません。
- 土日祝日は照明等の消耗品の交換以外のサポートは受けられません。  
特に技術サポートは担当者不在のため行えないので、事前下見時に操作方法をご確認ください。  
使用当日になって操作説明の依頼をする方がいるという報告を受けることがあります。このような行為は他の方の迷惑になりますので絶対に行わないでください。
- 本書以外の操作を行う場合は必ず利用環境確認表を提出し、下見時に操作説明を受けてください。

# 小柴ホール 照明位置について

小柴ホールの照明の位置、向きの変更は特別な場合を除き禁止しております。変更を希望される方は事前下見を予約し、機器操作説明時にホール管理者の許可を得てから調整してください。また使用後は必ず原状復帰をしてください。

※下の照明に関する写真はあくまでも参考です。

照明位置を変更される方は予め、元の配置を確認したうえで行ってください。

## 上手照明



HD1



HD4

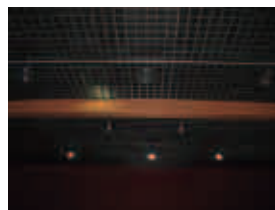


SP1,2

## 中央照明



HD2,3



HD5

## 下手照明



HD1



HD4



SP1,2